

ケースプレゼンテーション審査および筆記試験結果報告書 (様式 11)

発表学会	第 回学術大会 (大会長 先生)	発表日(審査日)	平成 年 月 日		
	平成 年度 支部学術大会				
演題名	審査員氏名			得点	
発表者名	印			/50	
所属					

審査委員の方へ

審査は16項目で構成されています。各々について、満足(十分できた:3点)、ほぼ満足(十分ではないができた:2点)、やや不満足(十分でなかった:1点)、不満足(全然できなかった:0点)で評価をお願いします。なお、「7.その他」については、満足(十分できた:5点)、ほぼ満足(十分ではないができた:3点)、やや不満足(十分でなかった:1点)、不満足(全然できなかった:0点)で評価をお願いします。また、お気づきの点がありましたら、下欄にご記入下さい。

	満足 3	ほぼ満足 2	やや不満足 1	不満足 0
1. 医療面接ならびに診察				
A. 医療面接ならびに両歴聴取を行い、その結果を説明できた。				
B. 当該疾患に対して必要な診察ならびに検査を実施した。				
C. 診察ならびに検査の結果を適切に説明できた。				
2. 診断				
A. 病態を説明できた。				
B. 症例の問題点を説明できた。				
C. 正しい診断を下すことができた。				
3. 治療計画ならびにインフォームド・コンセント				
A. 診断に基づいて複数の治療法を選択し、それぞれについて説明できた。				
B. インフォームド・コンセントに基づいて治療方法を選択した。				
C. 適切な治療計画を立案した。				
4. 治療術式・治療効果				
A. 治療術式が合理的であり、補綴歯科専門医として評価できるレベルであった。				
B. 治療効果が高く、補綴歯科専門医として評価できるレベルであった。				
C. 技工操作と材料に関して説明できた。				
5. 術後管理				
A. 術後管理を行っていた。				
6. 発表				
A. 発表症例について十分に理解していた。				
B. 質問に対し適切に回答できた。				
チェックされた項目数:				
小計:				
	満足 5	ほぼ満足 3	やや不満足 1	不満足 0
7. その他				
A. 本症例に関する学術的知識および技術				
小計:				

総得点:

判定 ケースプレゼンテーションの合格ラインは、不満足項目なく、30点以上とするが、資格の認定は、認定部会で総合的に判定する。

ご意見(審査委員は必ず綴活して下さい。また、「不満足」項目があった場合は、必ず理由を記載して下さい。)